

eラーニング市場調査に見る導入・活用の傾向

2021年7月14日
日本イーラーニングコンソシアム
調査委員会 小橋 岳史

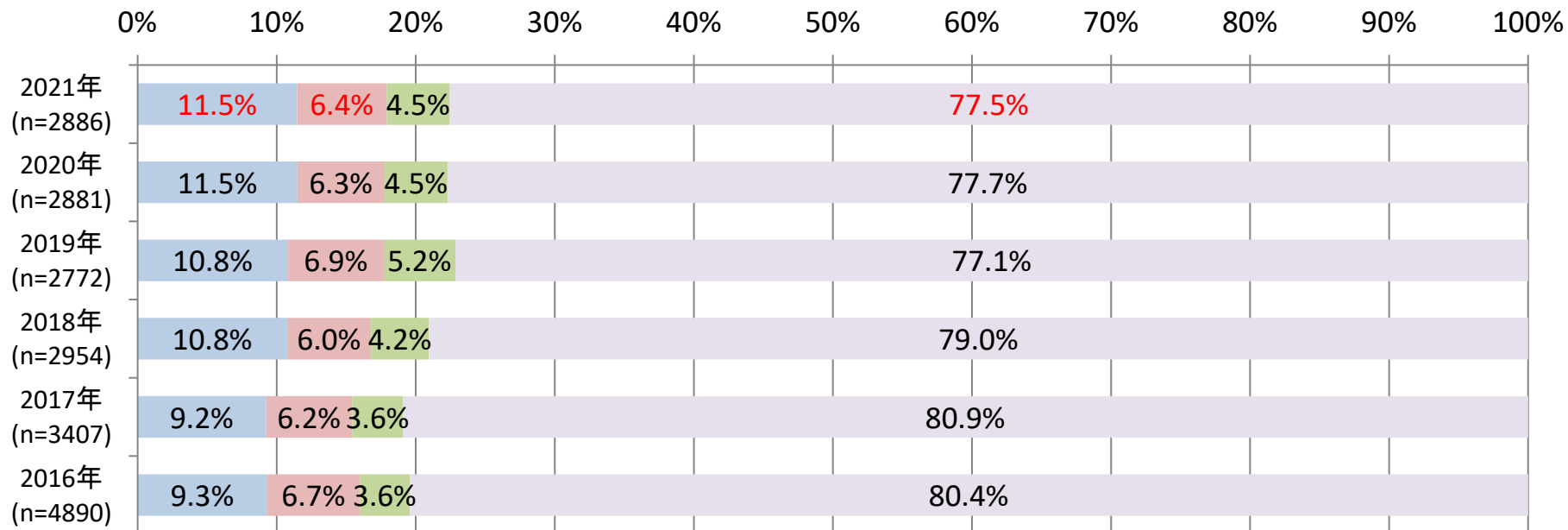
2. 調査の概要

調査概要

- ・ 調査目的 : eラーニング利活用の一般的現状を把握する。定点観測し傾向をみる。今回は7年目。
- ・ 調査対象 : eラーニングを利用している人 もしくは 過去5年以内に利用していた人
(全国15~81歳、平均40.82歳)
- ・ サンプル数 : 438 (プレ調査2,886)
- ・ 調査期間 : 2021年3月19日~21日

※eラーニングは「スマートフォンやタブレット、パソコンなどの情報機器を活用した学習」と定義

2. 調査の概要



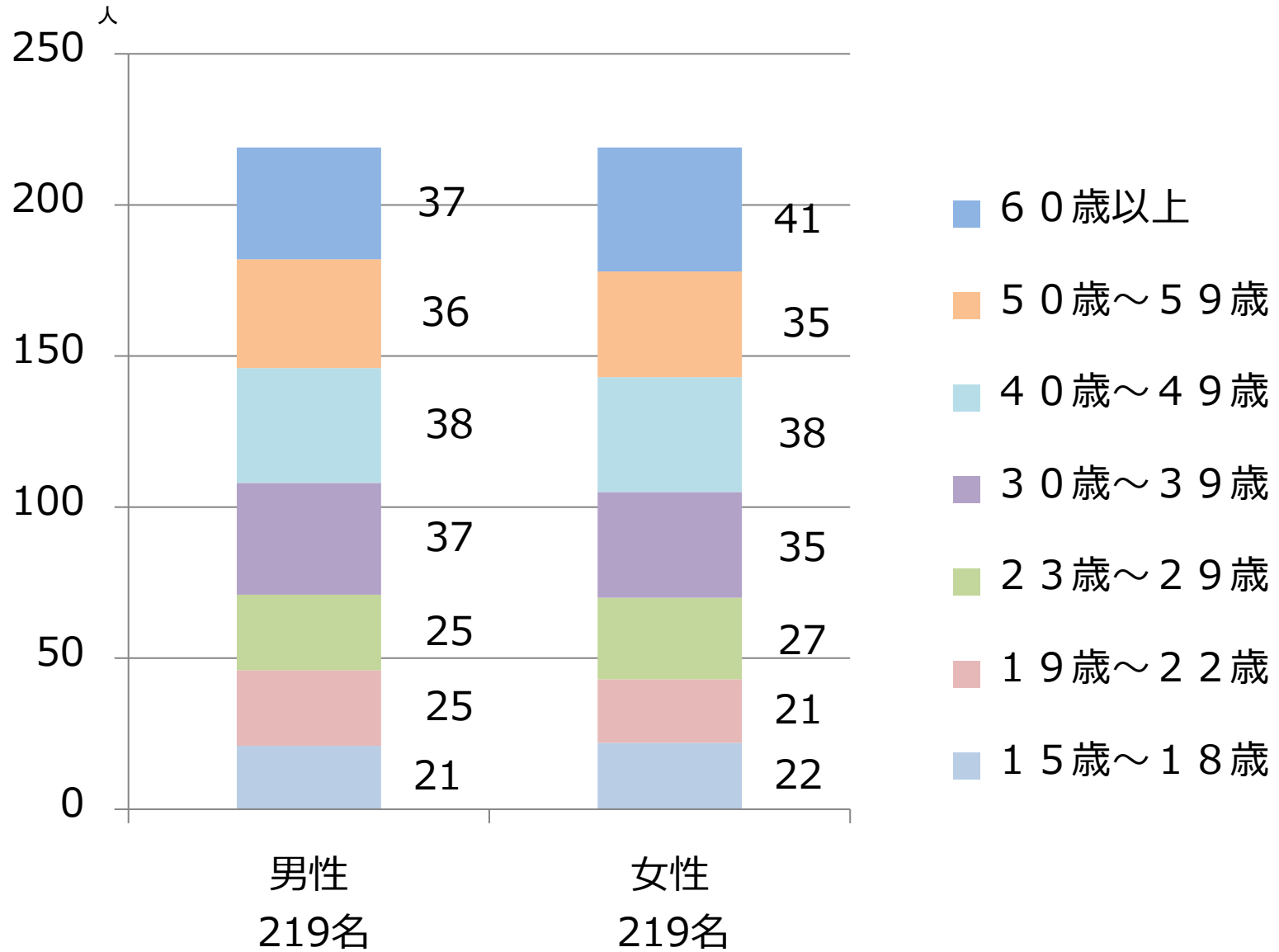
■ 現在利用している

■ 現在は利用していないが
過去5年以内には利用して
いた

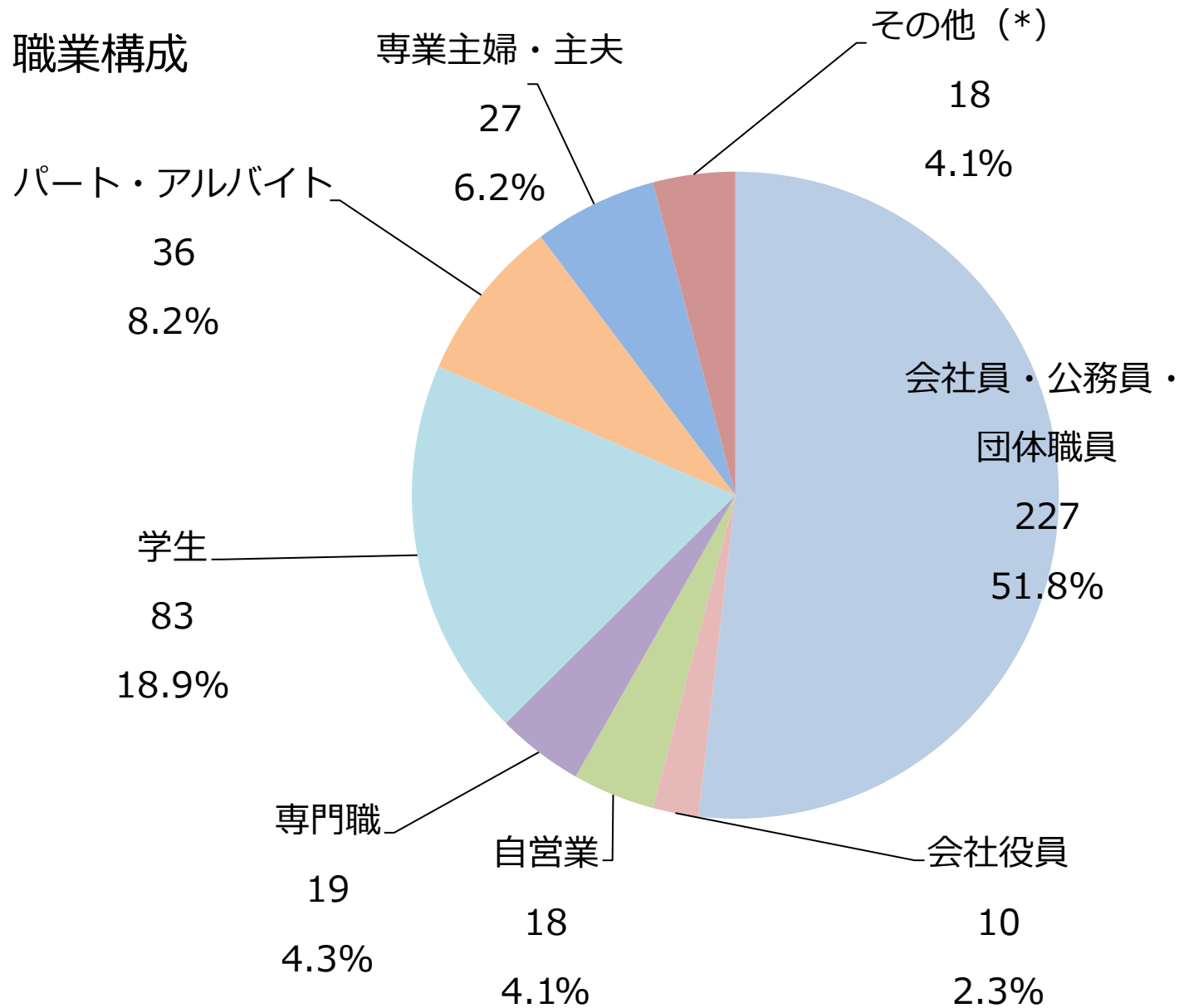
■ 6年以上前は
利用していたが
現在は利用していない

■ 全く利用したことがない

2. 調査の概要

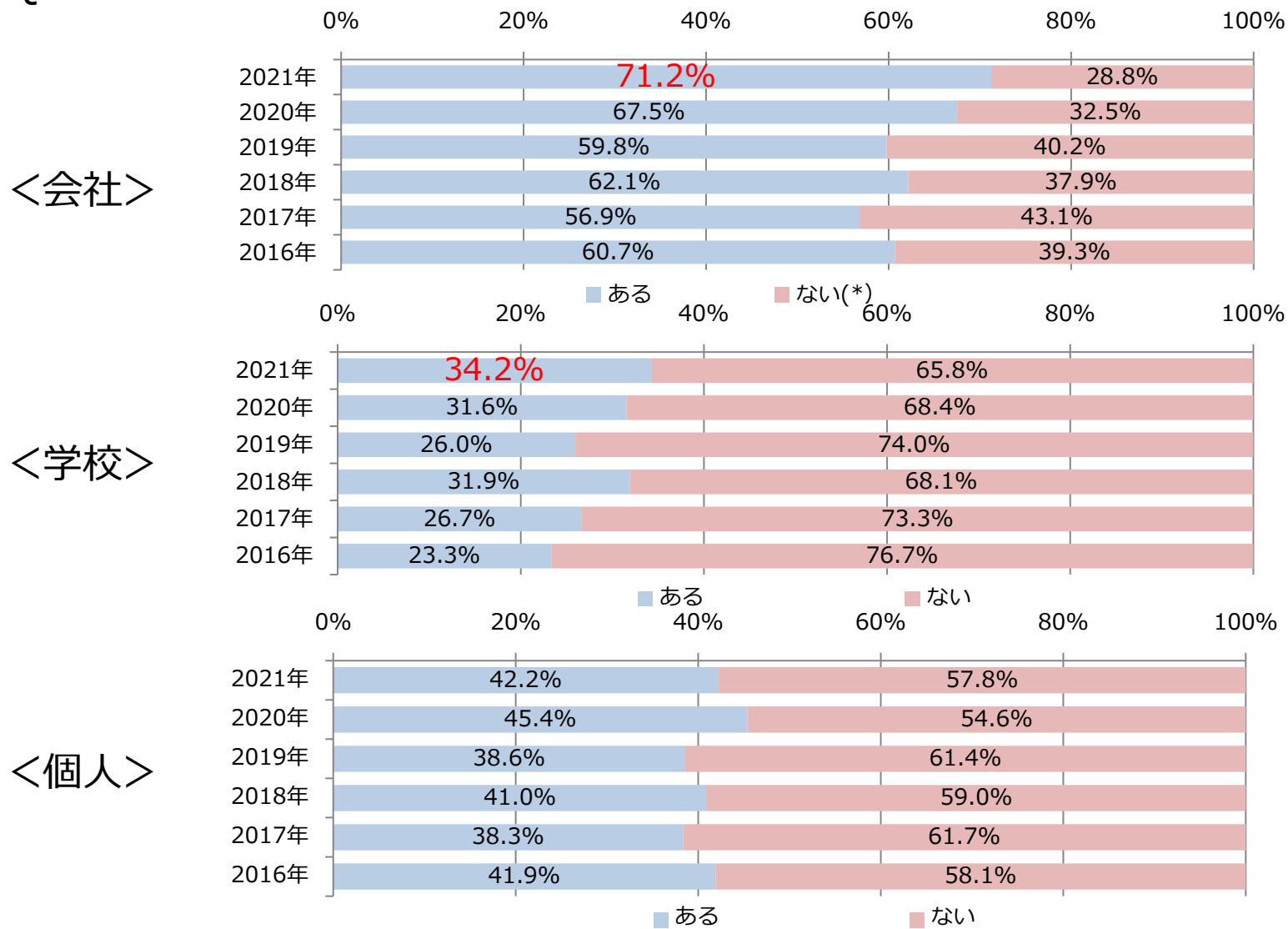


2. 調査の概要



3. 調査結果のご報告

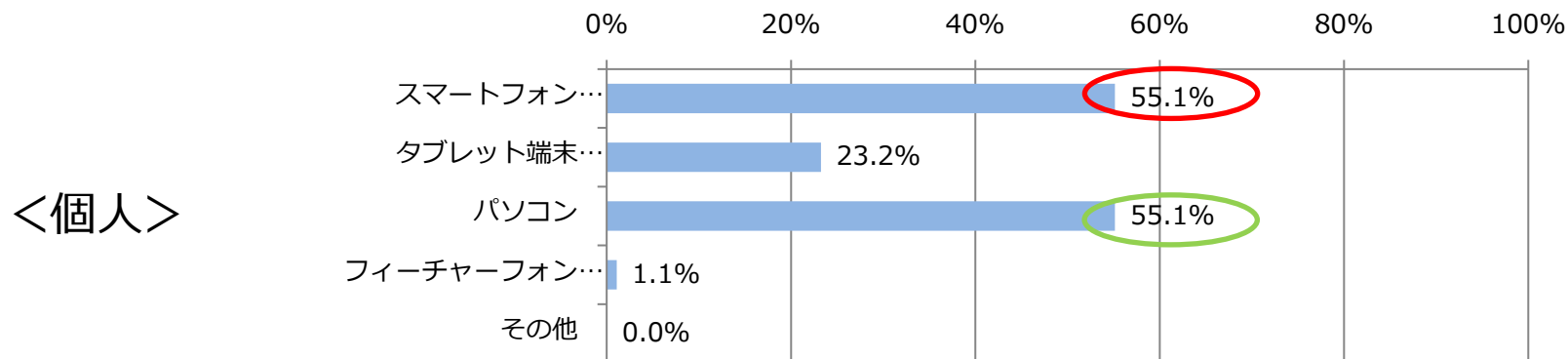
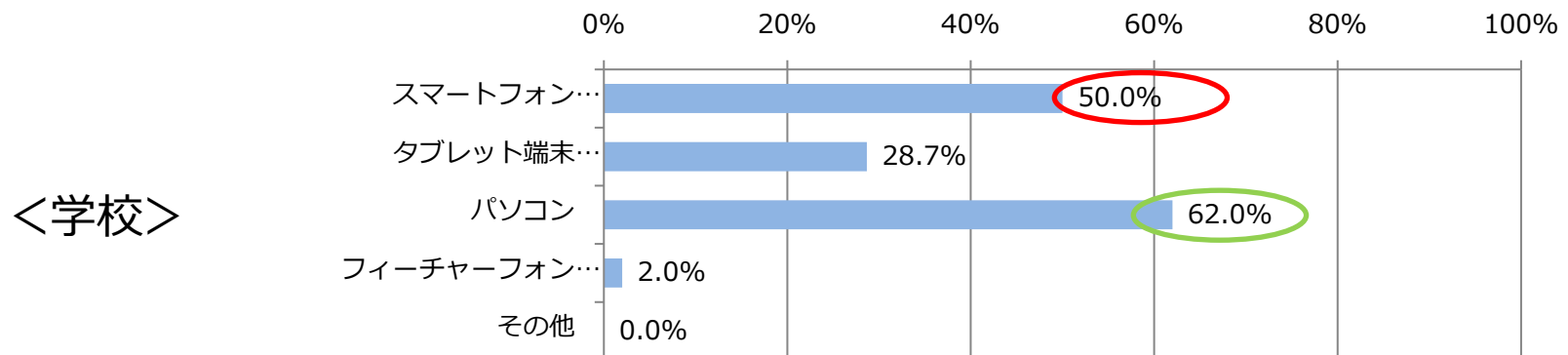
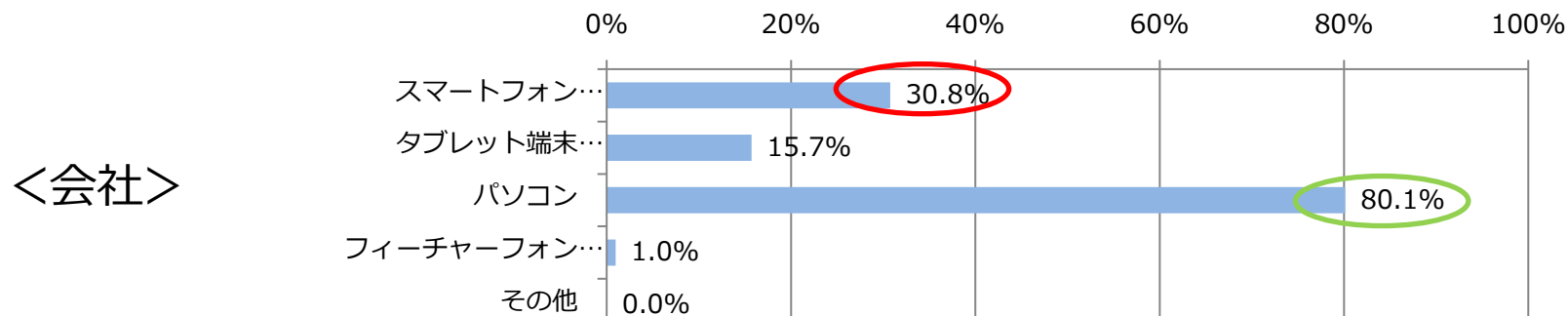
Q1. eラーニングはどこで利用しましたか？



※“会社”の『いいえ』の中には、学生および、勤務経験がない人などを含む

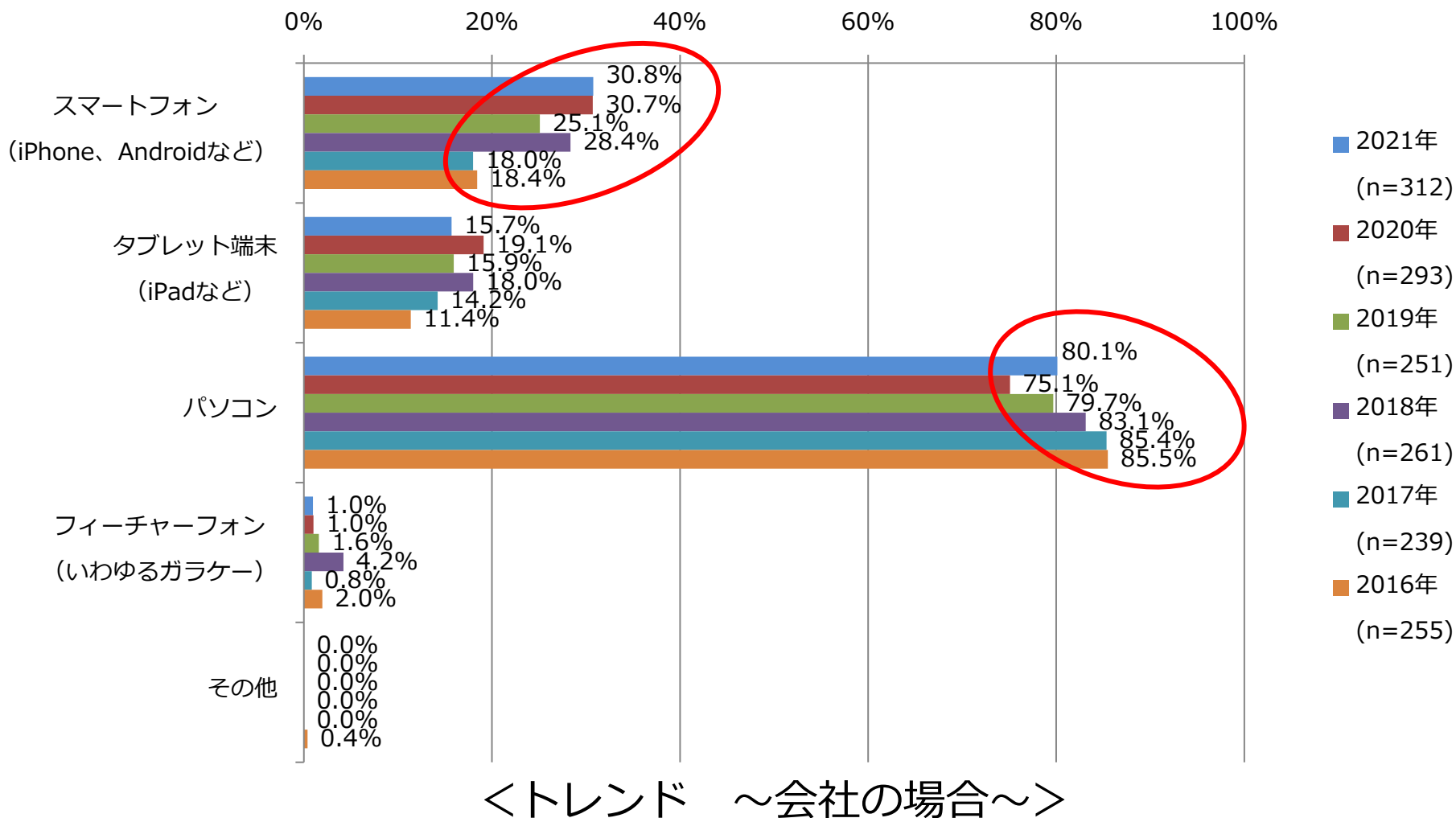
3. 調査結果のご報告

Q2. eラーニングの利用（利用していたを含む）には何を使っていますか？



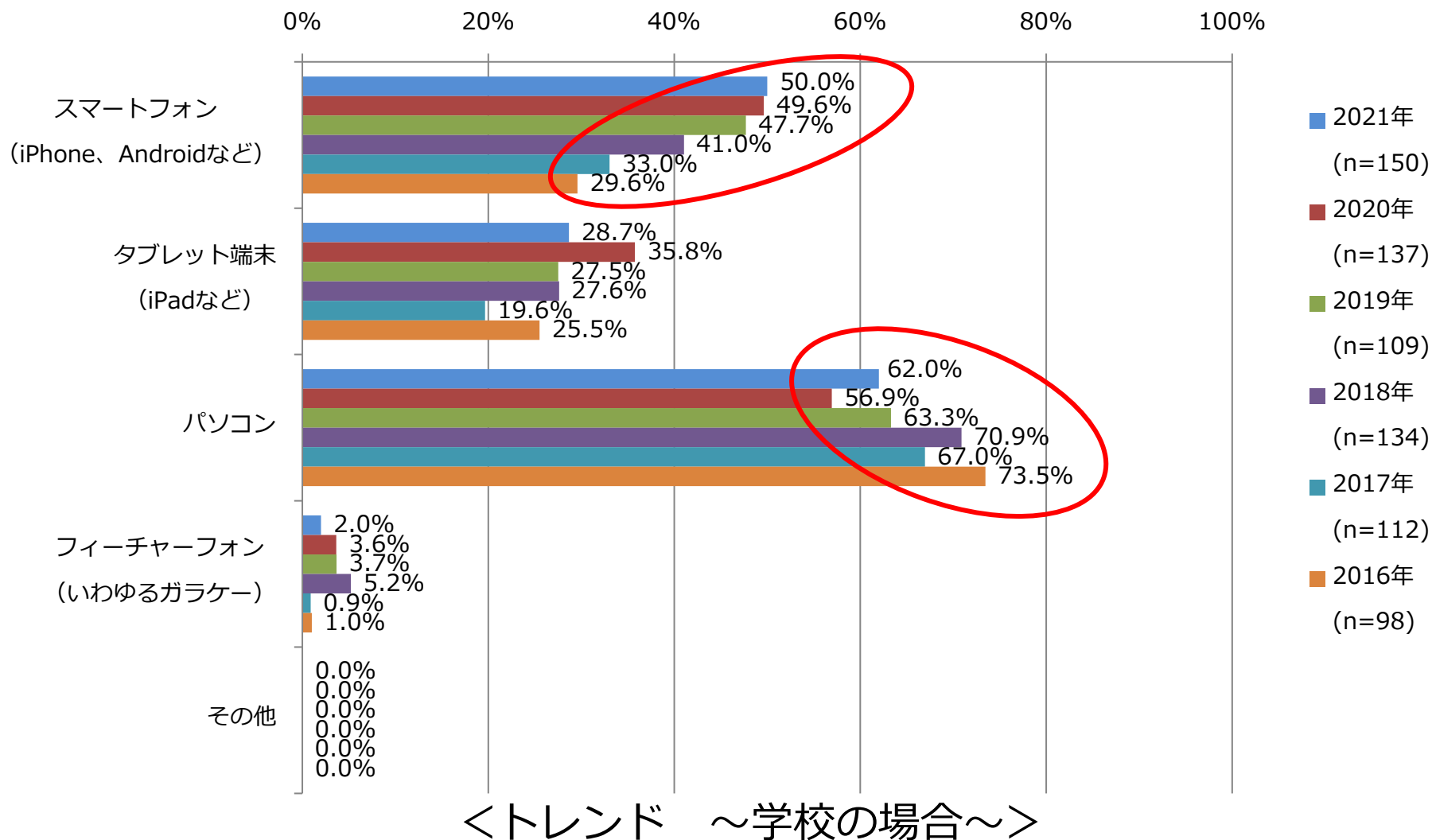
3. 調査結果のご報告

Q2. eラーニングの利用（利用していたを含む）には何を使っていますか？



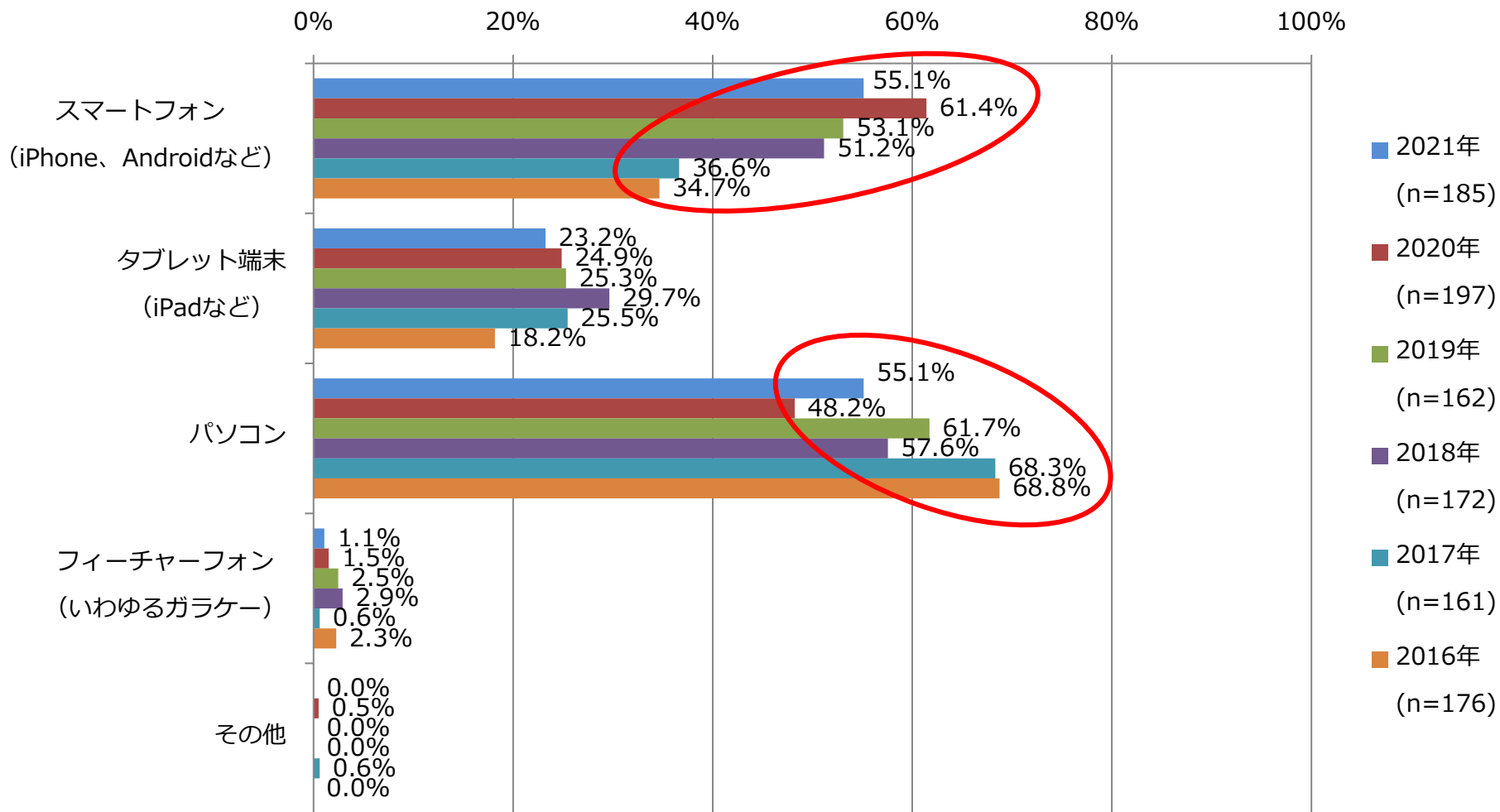
3. 調査結果のご報告

Q2. eラーニングの利用（利用していたを含む）には何を使っていますか？



3. 調査結果のご報告

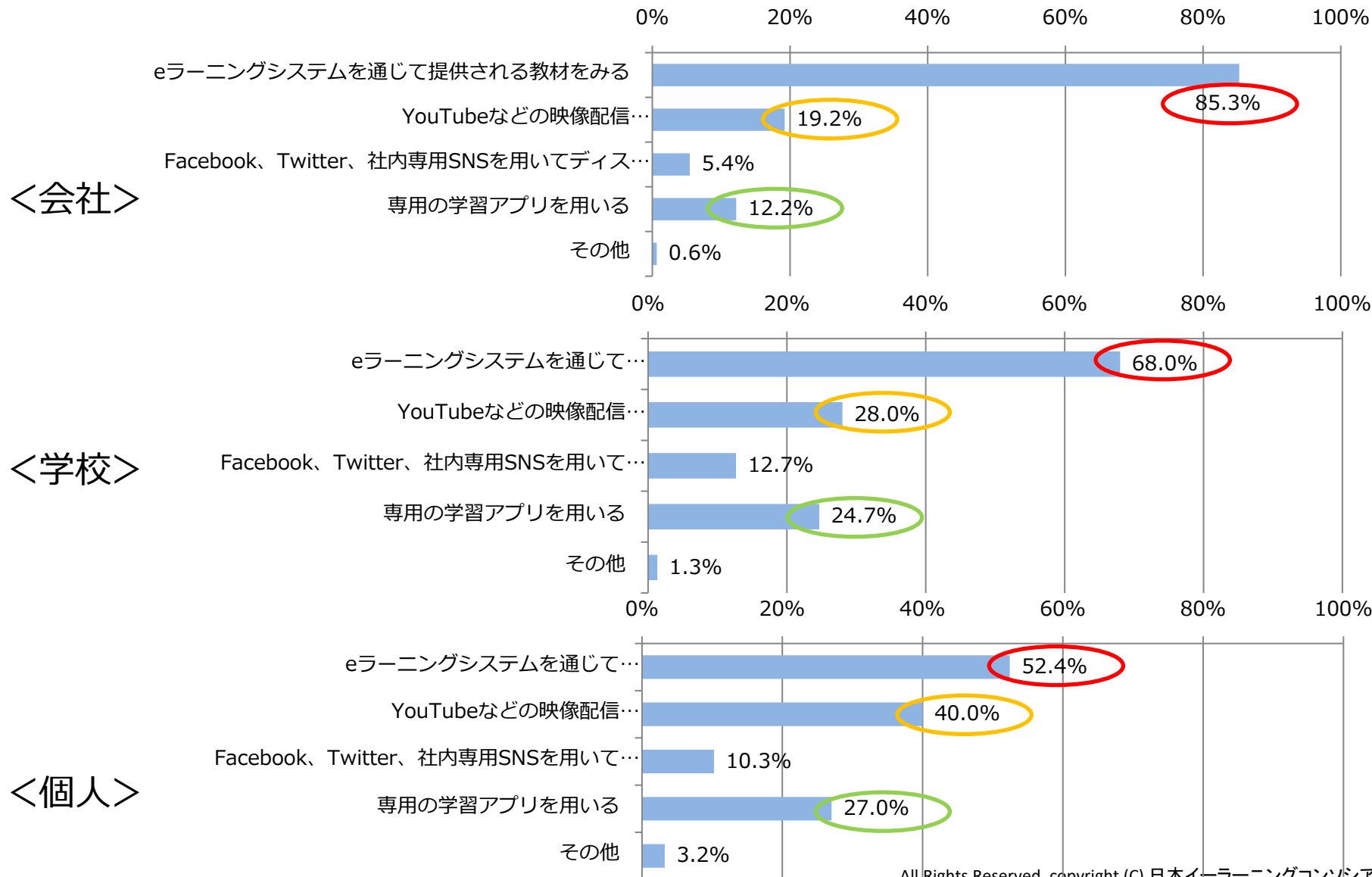
Q2. eラーニングの利用（利用していたを含む）には何を使っていますか？



<トレンド ~個人の場合~>

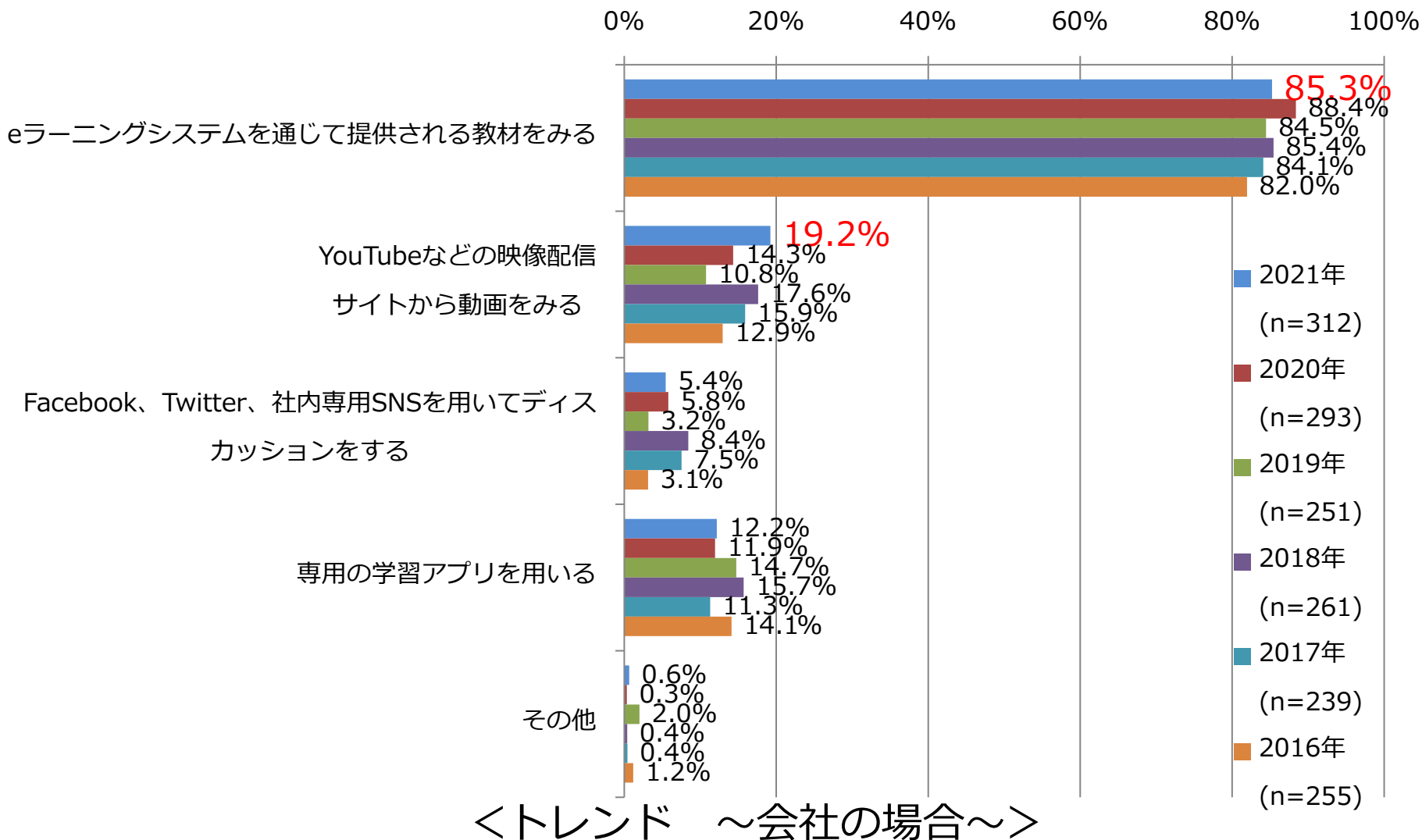
3. 調査結果のご報告

Q3. 利用している（していた）eラーニングの手段は主にどういったものですか？



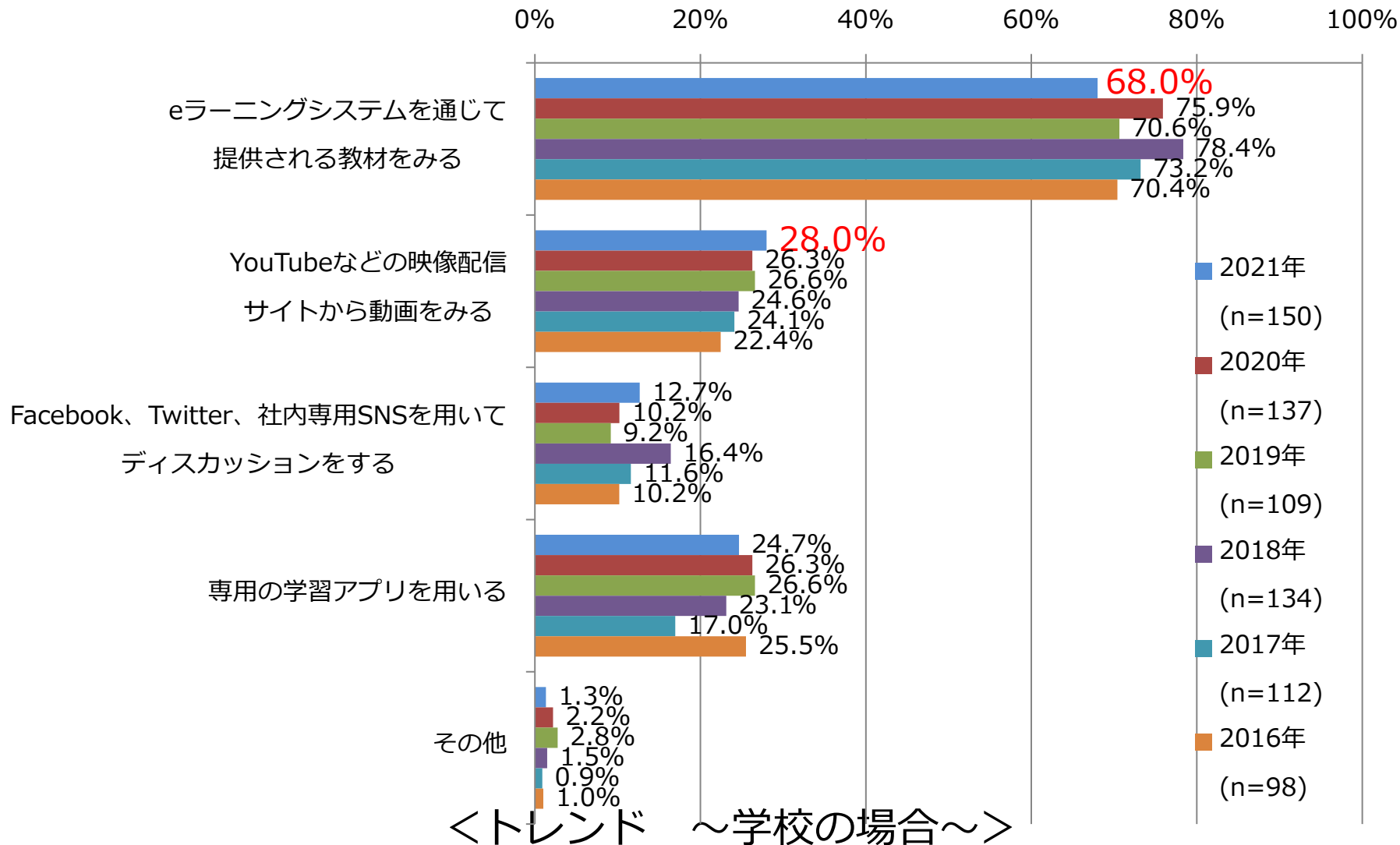
3. 調査結果のご報告

Q3. 利用している（していた）eラーニングの手段は主にどういったものですか？



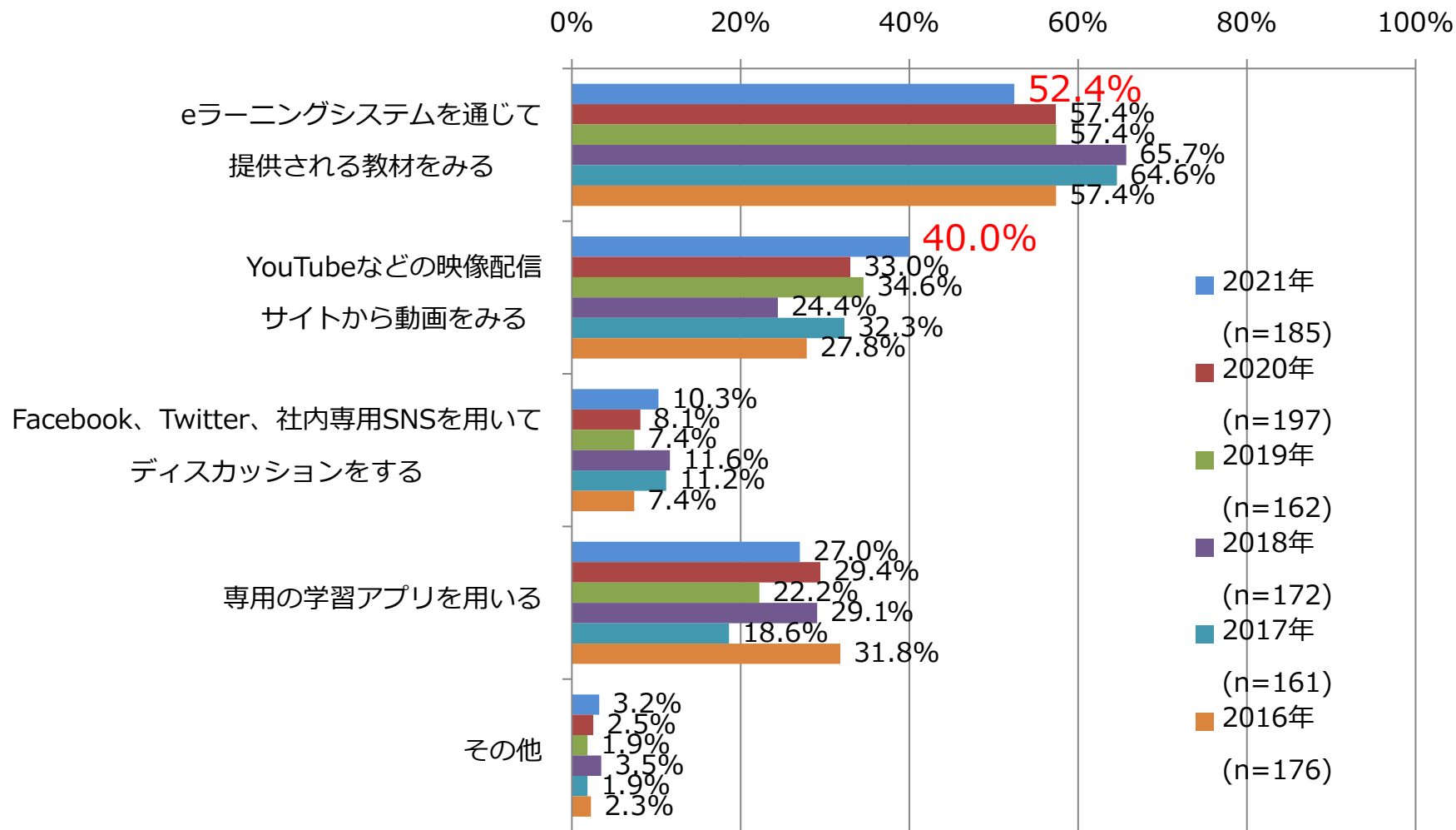
3. 調査結果のご報告

Q3. 利用している（していた）eラーニングの手段は主にどういったものですか？



3. 調査結果のご報告

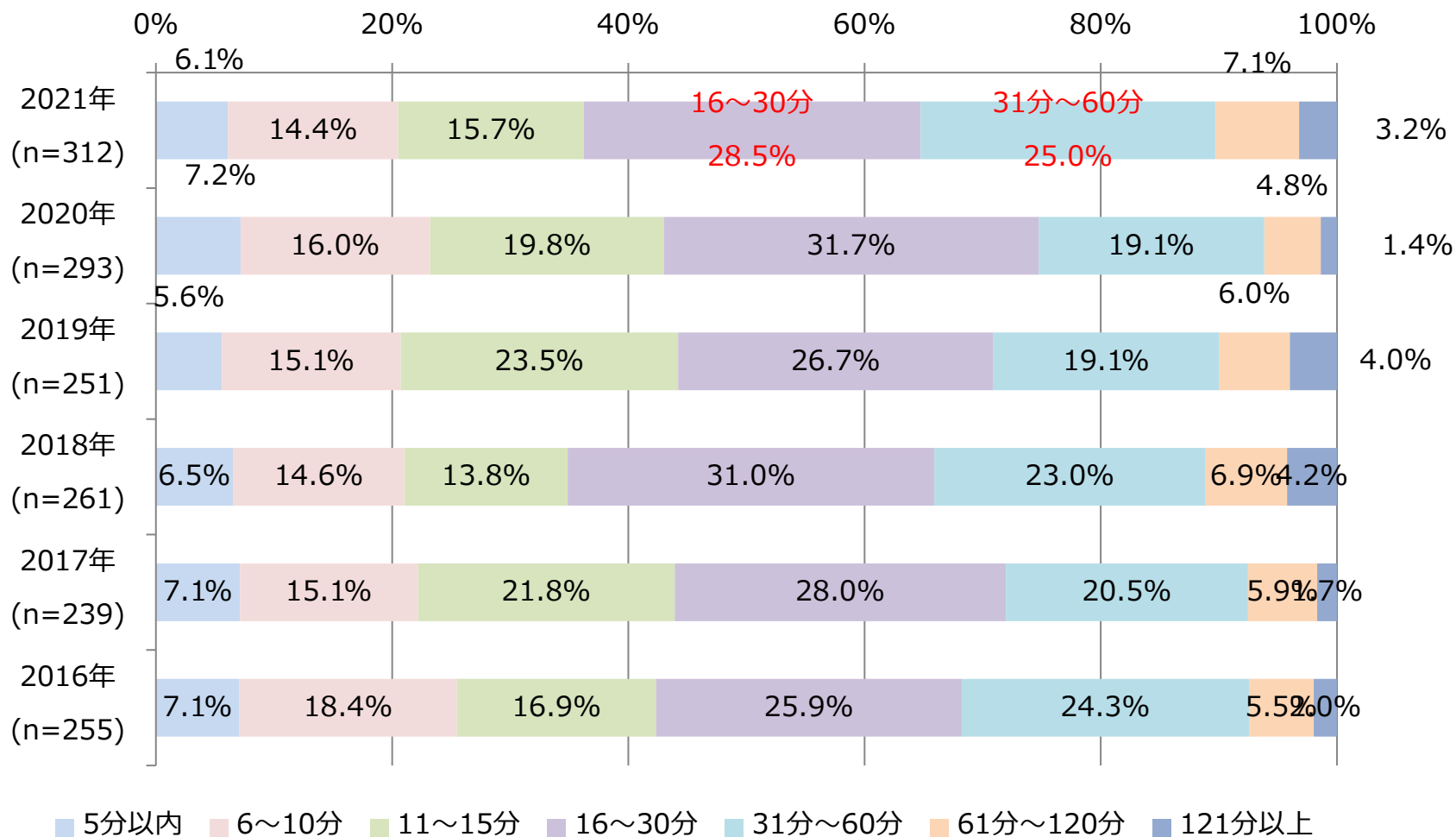
Q3. 利用している（していた）eラーニングの手段は主にどういったものですか？



<トレンド ~個人の場合~>

3. 調査結果のご報告

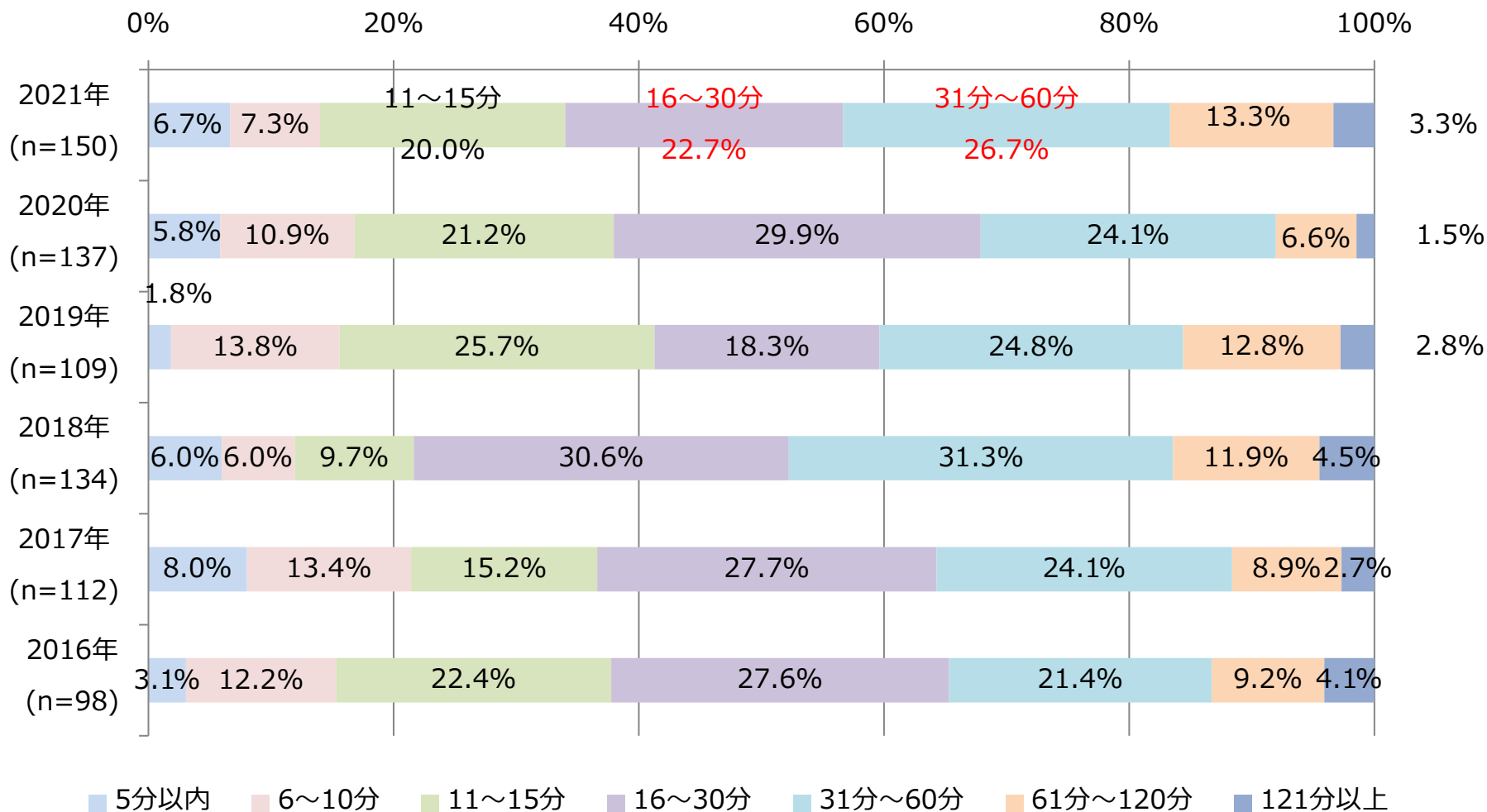
Q4. eラーニングの一度の利用時間は？



<トレンド ~会社の場合~>

3. 調査結果のご報告

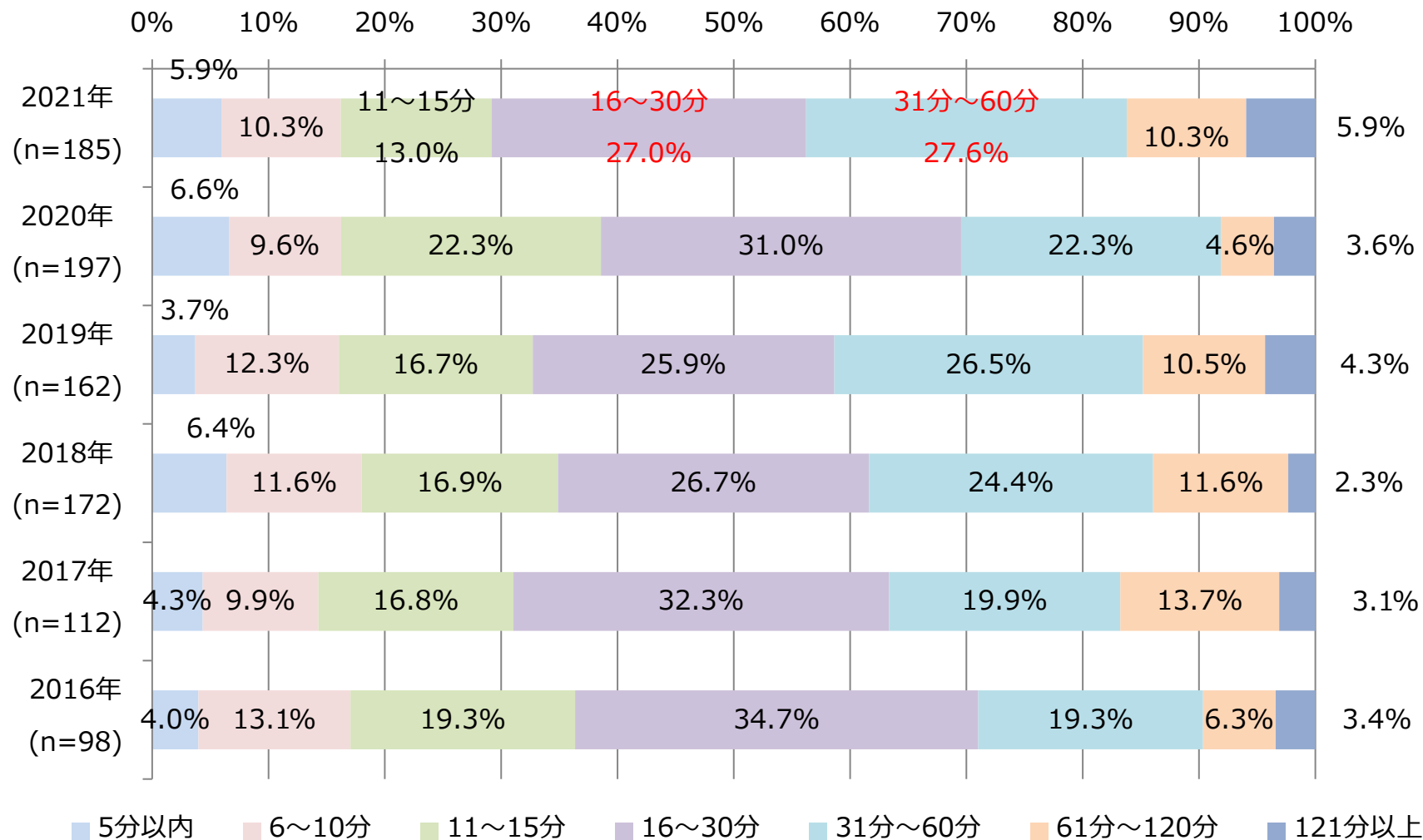
Q4. eラーニングの一度の利用時間は？



<トレンド ~学校の場合~>

3. 調査結果のご報告

Q4. eラーニングの一度の利用時間は？

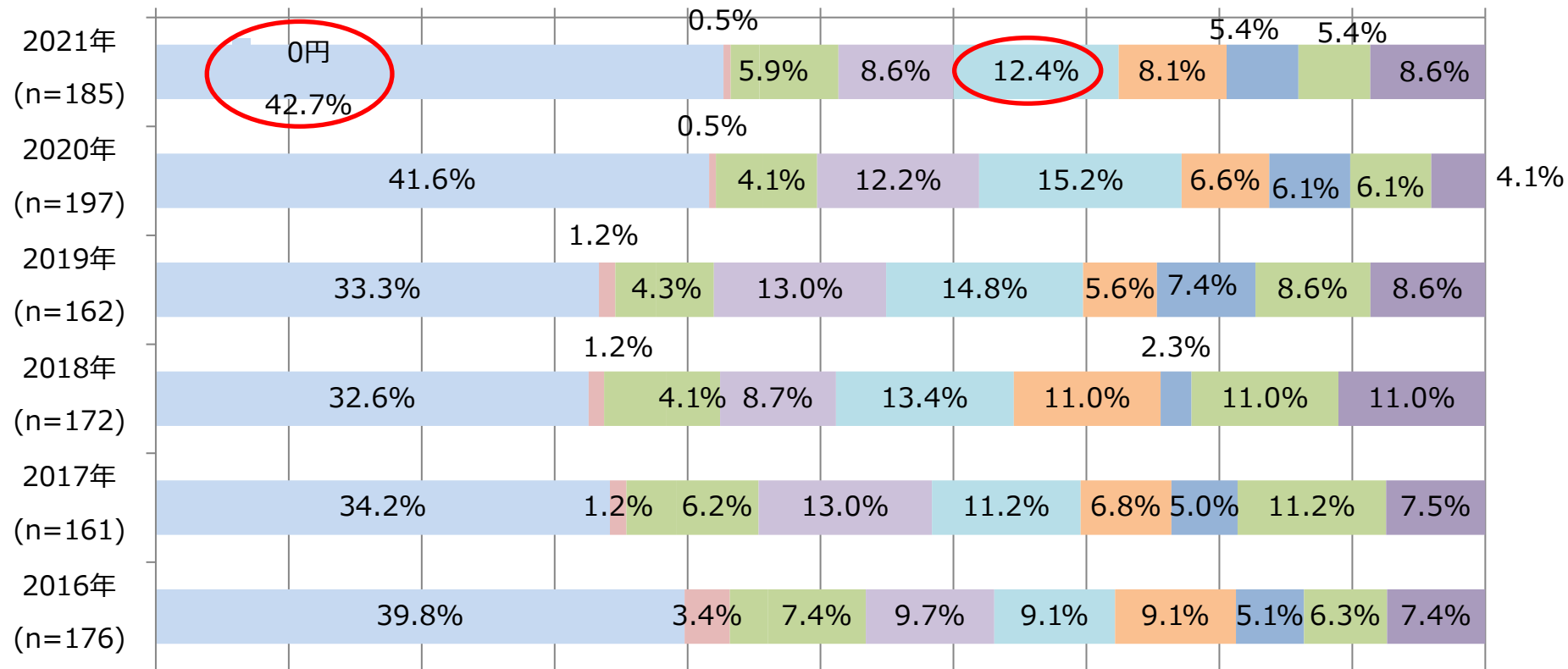


<トレンド ~個人の場合~>

3. 調査結果のご報告

Q5. (個人的にeラーニングを実施している方へ) 月額費用は？

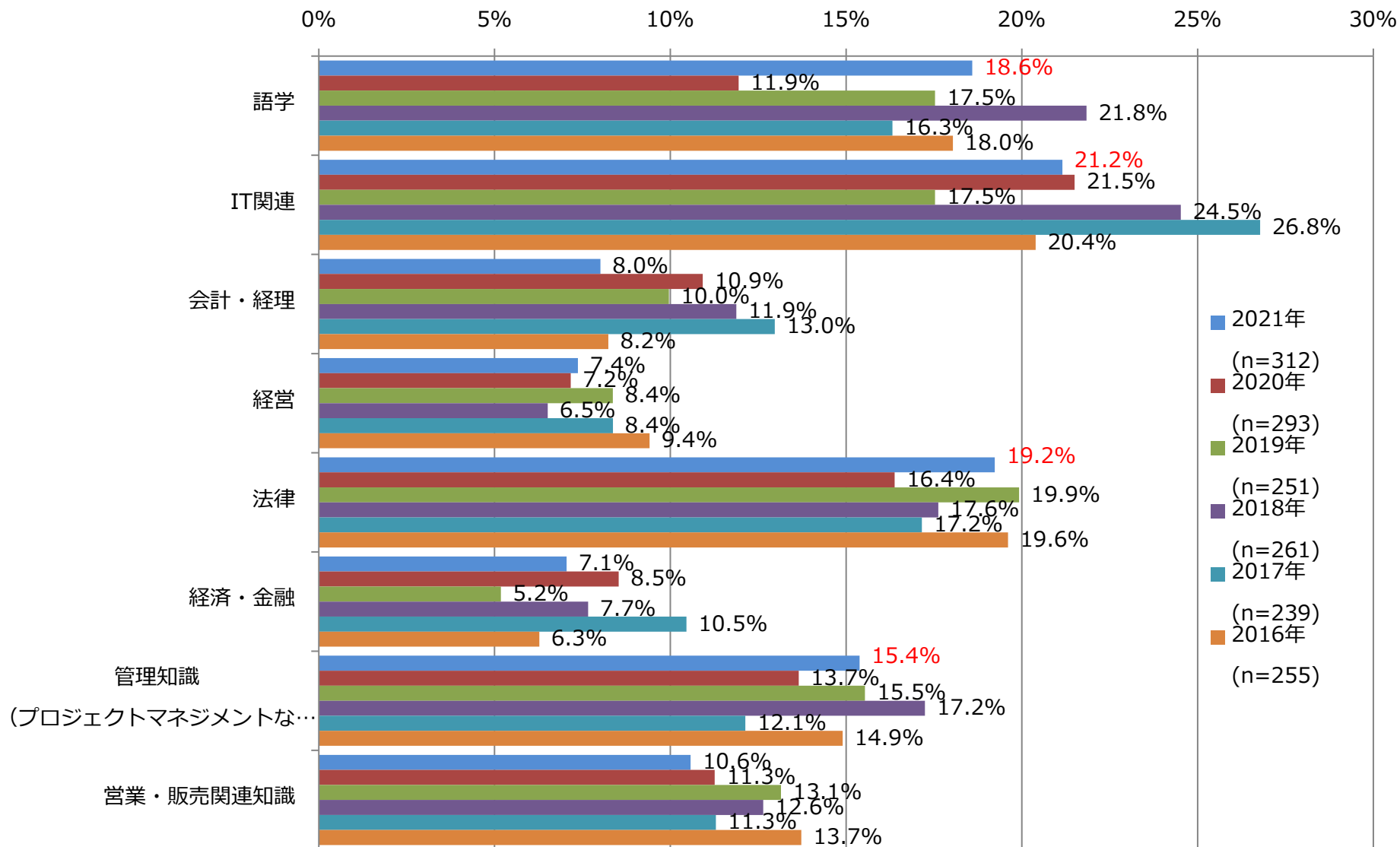
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 0円
 ■ 100円
 ■ 300円
 ■ 500円
 ■ 1,000円
 ■ 2,000円
 ■ 3,000円
 ■ 5,000円
 ■ 10,000円
 ■ 以上

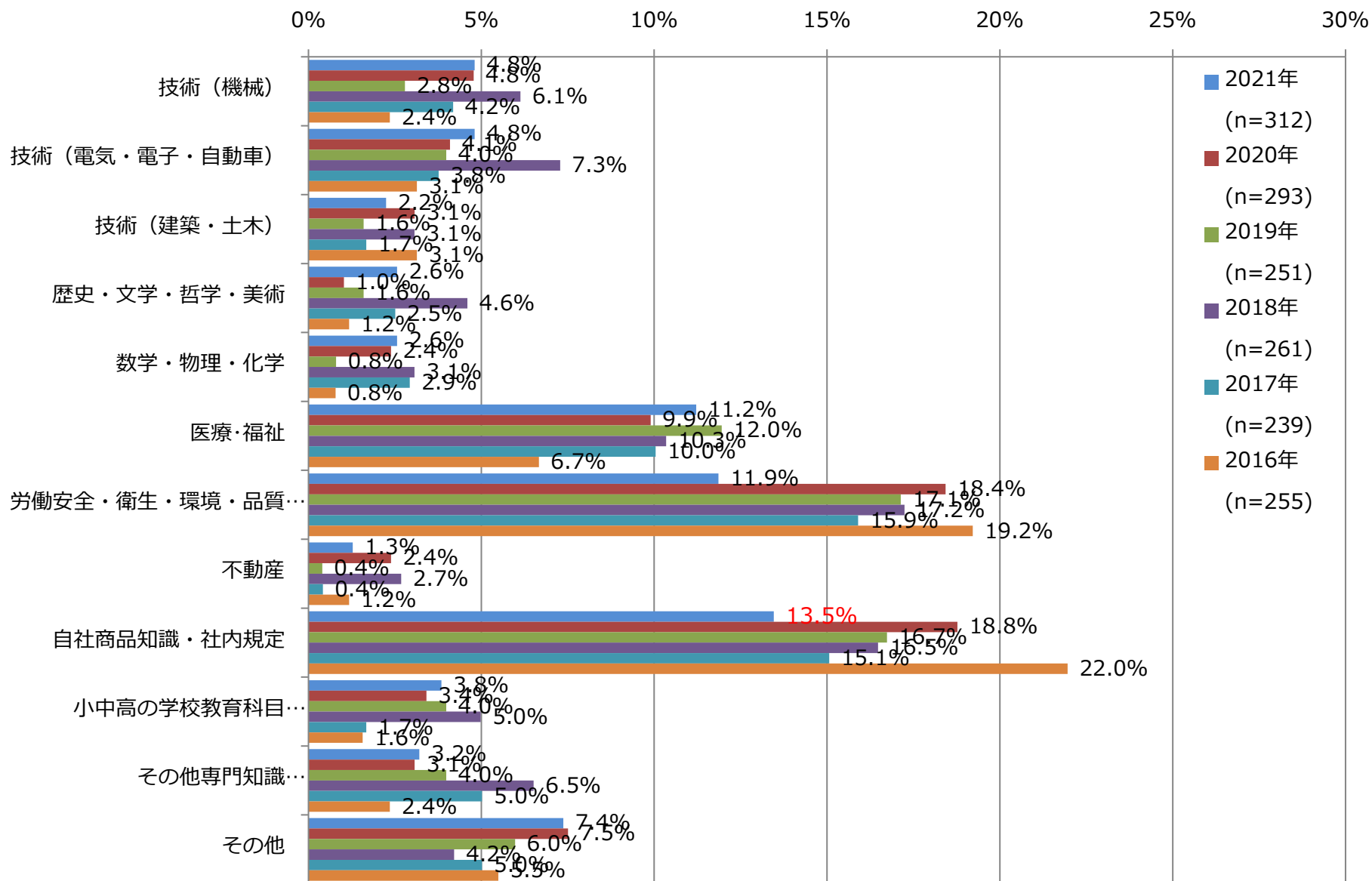
3. 調査結果のご報告

Q6. eラーニングの学習分野は？ ～会社の場合①～



3. 調査結果のご報告

Q6. eラーニングの学習分野は？ ～会社の場合②～

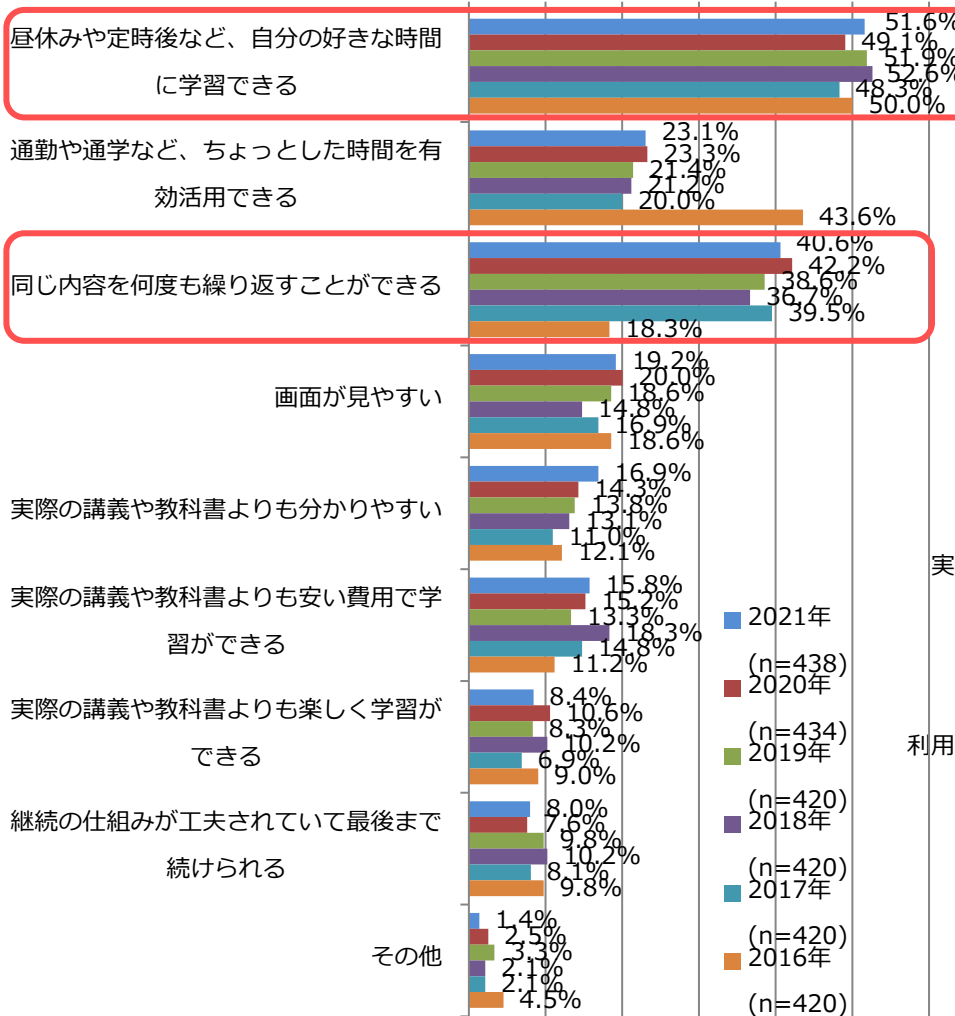


3. 調査結果のご報告

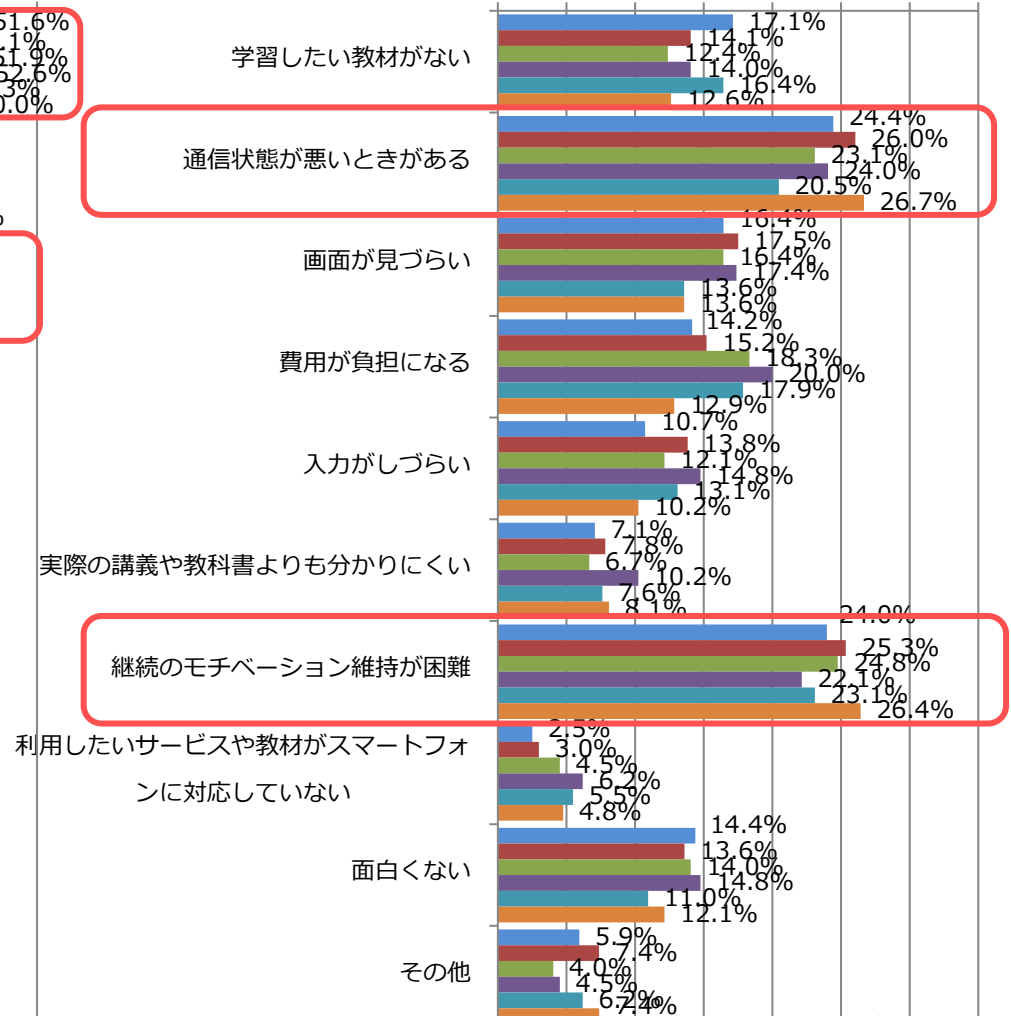
Q7. (eラーニングの経験者方へ) よかったこと、役に立ったと感じたことは？

Q8. (eラーニングの経験者方へ) 不満に感じたことは？

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%

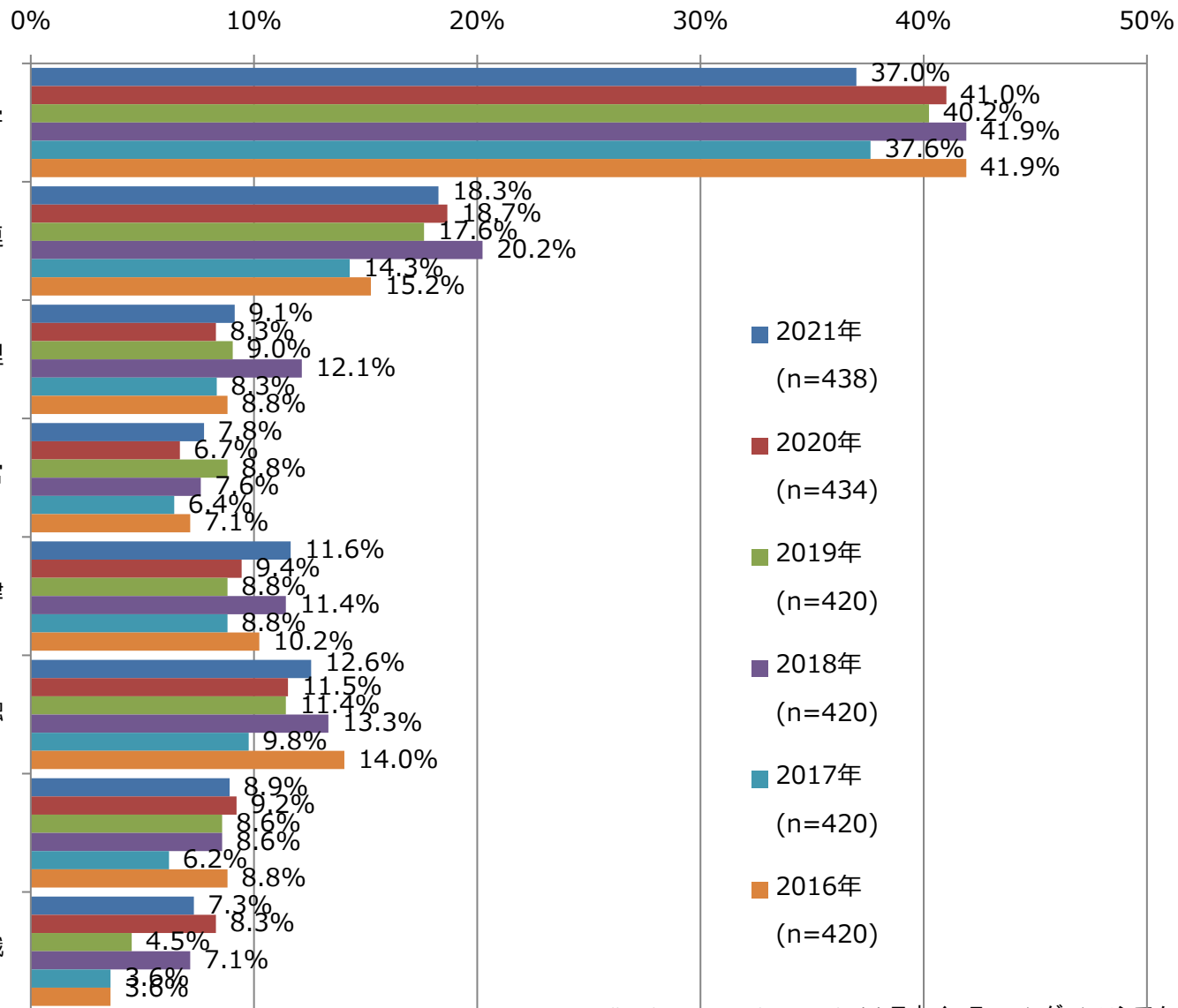


0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35%



3. 調査結果のご報告

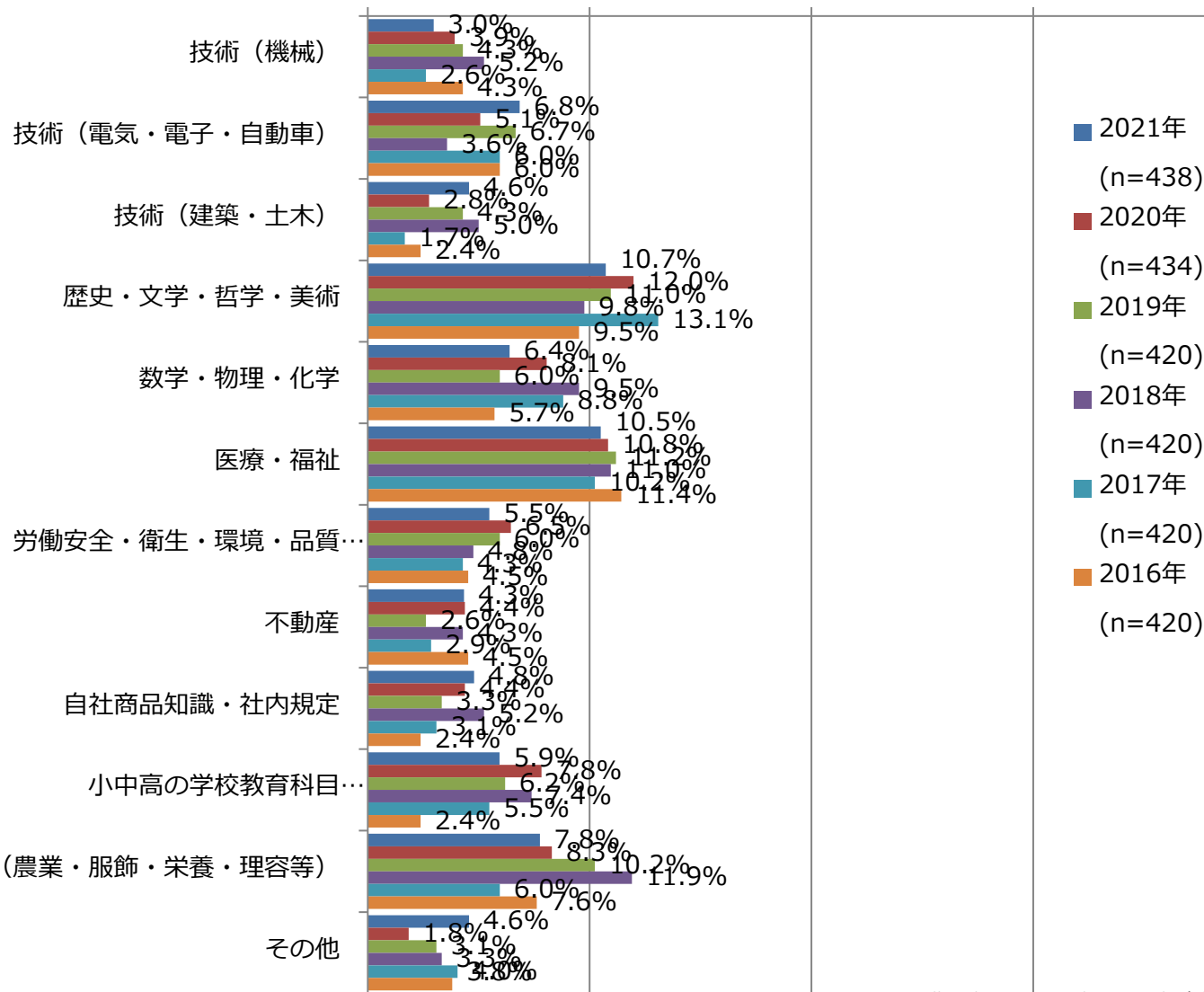
Q9. 今後利用したいeラーニングの分野は①？



3. 調査結果のご報告

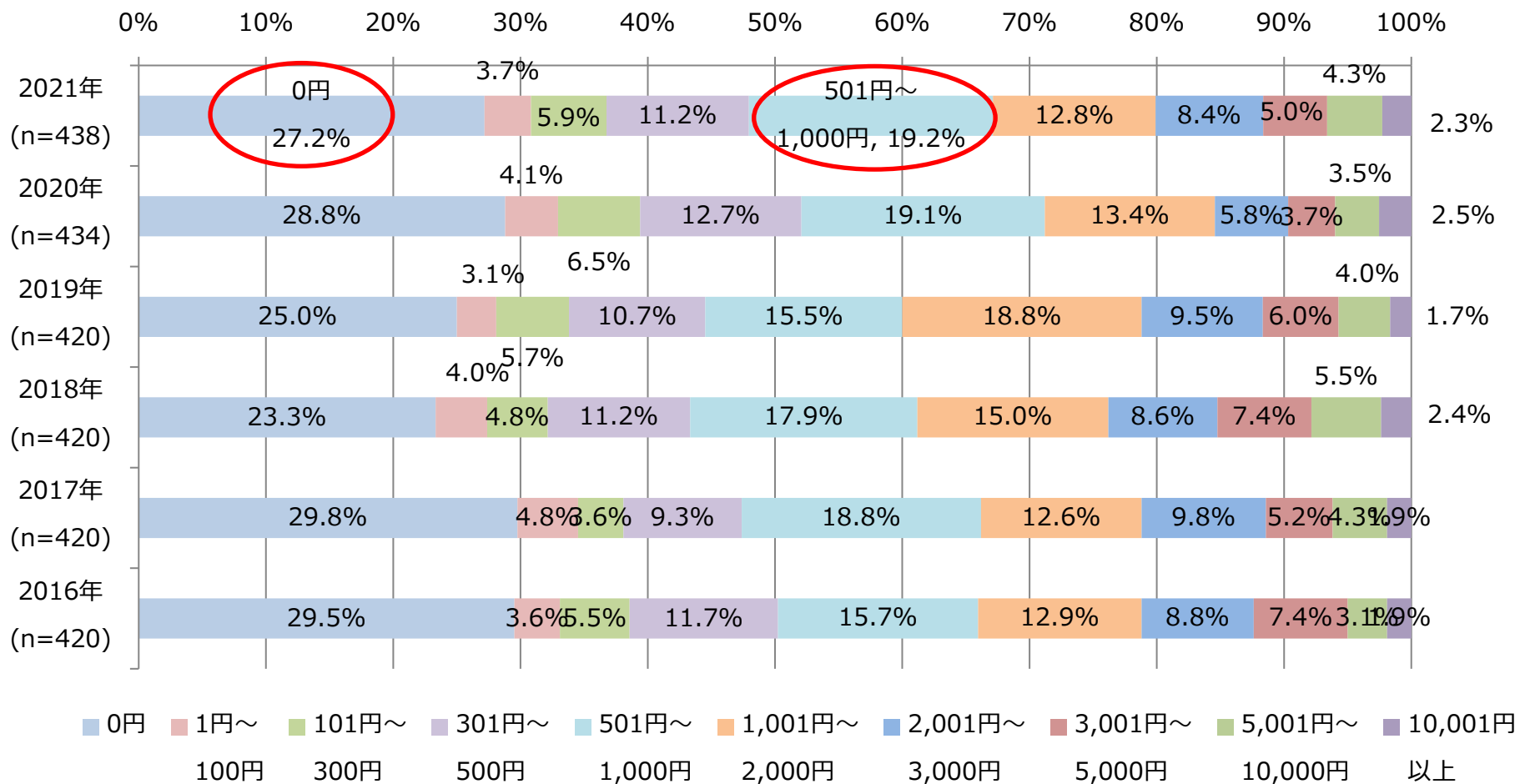
Q9. 今後利用したいeラーニングの分野は②？

0% 10% 20% 30% 40% 50%



3. 調査結果のご報告

Q10. 今後個人的に「eラーニング」を利用しようとした場合、
支払っても良い金額は（月額）？



4. まとめ

1. eラーニングの利用端末は、スマホ・タブレットの増加傾向続くも、PC利用が増加
2. プラットフォームはLMSが主役ではあるものの、Youtube等の動画サイトの利用が増加
3. メリットは2点に集中、デメリットは様ざま
4. 個人利用の無償利用が増加傾向

※本調査は2021年3月に実施。コロナ禍の影響を受け顕著な動きがあるのではと想像したがはっきりとは見られず。ZoomやTeamsなどのオンラインによるリアルタイム研修の状況などを捉えられていない可能性あり。

「企業内研修およびHR業務のICT化・DX推進に関する実態調査」

新型コロナウイルス対策が働き方の変化を加速させています。

業務効率化にとどまらない目的での人事・教育・労務関連業務のICT化・DX推進、そのためのツールの導入もその一つです。より広い視点ではダイバーシティ、オンラインでのビジネスフローの構築にとどまらず、SDGsの流れから投資家向けに企業内の人的資本を数値化するISO30414が米国で標準となりつつあります。

いまや人材の育成は、企業の経営指標を形成するものとなり、キャリア支援を含む働く環境の改善、業務効率の向上とともに採用、育成、リカレントとビジネスプロセスのすべてにおいて重要性を増しています。

本調査は、企業内研修とHR業務のICT化・DX推進についての最新実態の把握を目的とし、調査結果の詳細はご回答をいただいた皆様に共有させていただくと同時に、メディアへのリリース配信を行い、10月にオンライン開催する「ヒューマンキャピタル/ラーニングイノベーション2021」にて、調査結果をベースにしたパネルディスカッションの開催を予定しております。